

民間甲状腺検査の取り組みに関する意見交換会

# 原発事故後の健康を見守る — 私たちにできること —

主催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター福島原発震災に関する研究プロジェクト  
共催：関東子ども健康調査支援基金

日時：2018年10月14日(日)

午後14:00～17:00(受付開始13:30～)

参加費無料・事前申込不要・先着80名

会場：宇都宮大学峰キャンパス UU プラザ 2階コミュニティーフロア  
大学内の駐車場をご利用いただけます

お問い合わせ：028(649)5170・[nshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:nshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp) (清水研究室)

峰キャンパスへの交通アクセス

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/map/access.php>

キャンパス内のマップ

[http://www.utsunomiya-u.ac.jp/map/campus\\_map.php](http://www.utsunomiya-u.ac.jp/map/campus_map.php)

(会場は2番の建物2階・駐車場は15番の学生会館裏側)

企画趣旨：原発事故から8年目となりましたが、現在まで事故後の子どもたちの健康を見守るために、甲状腺検査を行っている民間団体が各地で活動を続けてきました。その背景には、福島県境を越えて広がる放射能汚染の健康影響について、国、自治体が責任をもって健康調査をしてこなかったという問題があります。事故による影響が長期間にわたって続くことが予想されるなか、民間での検査を担ってきた関係者が意見を交わし、情報を共有する場を設けたいと思います。御関心のある方はぜひご参加ください。



<スケジュール>

13:30 受付開始

14:00-14:15 主催者挨拶・趣旨説明・アンケート調査報告  
宇都宮大学国際学部 准教授 清水奈名子さん

14:15-15:15 各地の民間検査団体関係者による話題提供

- ① いわき市民放射能測定室たらちね（福島県）  
藤田操先生・古関幸子さん
- ② 関東子ども健康調査支援基金（茨城県・千葉県・神奈川県・埼玉県・栃木県）  
木本さゆりさん
- ③ 放射能問題支援室いずみ（宮城県）  
服部賢治さん
- ④ NPO 法人 Annaka ひだまりマルシェ（群馬県）  
神戸るみさん

15:15 - 15:25 休憩（10分）

15:25 - 16:00 関東子ども健康支援基金協力団体関係者による話題提供

<栃木県の経験から>

- ①那須塩原放射能から子どもを守る会 手塚真子さん
- ②にじいろみらい（真岡市・益子町）丸山智子さん
- ③甲状腺エコー検査矢板実行委員会 井田紫衣さん
- ④塩谷町の関係者（予定）

16:00-16:50 意見交換

16:50-17:00 振り返りと終わりの挨拶 清水奈名子さん

以上